

## 大船渡市内ジオパークのサイト位置図

- ① 碁石海岸・穴通磯(末崎町赤土倉)
- ② 碁石海岸・乱曝谷、雷岩(末崎町大浜)
- ③ 碁石海岸・碁石浜(末崎町大浜)
- ④ 碁石海岸・館ヶ崎角岩岩脈(末崎町西館)
- ⑤ 樋口沢(日頃市町上板用)
- ⑥ 合足の津波石(赤崎町外口)
- ⑦ 吉浜の津波記念碑(三陸町吉浜沖田)
- ⑧ 門之浜の防潮堤(末崎町小中井ほか)
- ⑨ 気仙縄文遺跡
- ⑨-1 蛸ノ浦貝塚(赤崎町蛸ノ浦)
- ⑨-2 下船渡貝塚(大船渡町宮ノ前)
- ⑨-3 大洞貝塚(赤崎町大洞)
- ⑩ 関谷洞窟住居跡(日頃市町関谷)
- ⑪ 今出山金山跡(三陸町越喜来西上甫嶺)



※平成30年4月現在

吉浜の津波記念碑

関谷洞窟住居跡

蛸ノ浦貝塚

合足の津波石

碁石海岸・館ヶ崎角岩岩脈

(5) 広報大船渡 30.11.5(No.1138)

▷ 問い合わせ＝市役所 ☎0192⑦3111

## 大船渡市内ジオパークのサイトを紹介します

ジオパークの見どころとなる場所を「サイト」といい、三陸ジオパークには平成30年4月現在118箇所のサイトがあります。そのうち気仙地域に26箇所、大船渡市内には11箇所があります。これらのサイトを巡り、人類の歴史や文化とジオ(地球)とのつながりを体感しましょう。

### ■市内のジオパークのサイトを紹介します

**①碁石海岸・穴通磯**  
碁石海岸を代表する奇岩で、波の浸食によって3つの穴が開いており、穴を小型船でくぐることができます。若夫婦が穴をくぐり祈願したところ、子宝に恵まれたという言い伝えがあります。

**②碁石海岸・乱曝谷、雷岩**  
乱曝谷は、向かい合うように切り立つ高さ数十mの断崖絶壁で、その絶壁に打ちつける三陸の荒波は迫力のある景観を生み出しています。雷岩は、海面近くに開いた穴から波の状態により潮が吹き出し、雷のような重低音が聞こえることがあります。

**③碁石海岸・碁石浜**  
囲碁の碁石のような黒くて丸



碁石浜

石が見られます。囲碁の碁石として伊達藩に献上されたとの言い伝えがあります。

**④碁石海岸・館ヶ崎角岩岩脈**  
砂と泥が交互に堆積してできた地層を貫いている珪質の岩脈です。※現在、地盤沈下により、陸上からの見学は困難です。

**⑤樋口沢(南部北上帯の古生界)**  
昭和11年に日本で初めて、当時国内最古となる古生代シルル紀約4億2千万年前の化石が発見されました。

**⑥合足の津波石**  
外口小浜の海岸より約60m内陸に入った杉林の中に一つだけときに押し流された石といわれています。



門之浜の防潮堤

津波石は、以前は「龍神の石」と呼ばれ、津波の惨状を繰り返さないよう祈ったものと伝えられています。

**⑦吉浜の津波記念碑**  
津波犠牲者を供養し、明治29年と昭和8年の津波被害を伝えられています。吉浜地区は、明治と昭和の三陸地震津波後、高台への集落移動を行った事により、東日本大震災での人的被害はほとんどなく、「奇跡の集落」と呼ばれています。

**⑧門之浜の防潮堤**  
防潮堤が東日本大震災により倒壊し、津波の押し波だけでなく、引き波によっても海側に倒されました。今は新しい防潮堤が完成しています。



坑道跡

**⑨気仙縄文遺跡**  
大船渡市には、多くの貝塚が密集しています。釣り針など漁の道具も見つかっており、当時から豊かな海産物の恵みを受けていたことが分かります。

**⑩関谷洞窟住居跡**  
古生代シルル紀(約4億2千万年前)にできた石灰岩が侵食を受けて造られた洞窟です。土器や動物の骨が見つかっており、古くから人類が洞窟を利用していたことが分かります。

**⑪今出山金山跡**  
江戸時代には気仙四大金山の一つとして伊達藩の財政を支えました。昭和30年頃まで金が採掘され、現在は、事務所跡、映画館跡のほか、ぽっかり開いた坑道跡を見学できます。※一般見学用には整備されておらず、山道を歩いての見学となります。

### ■12月9日(日)に文化財めぐりを行います

気仙縄文遺跡の下船渡貝塚、関谷洞窟住居跡、市立博物館を巡る文化財めぐりの参加者を募集しています。詳しくは20ページの記事をご覧ください。

(4)